

## 平成21年度事業の概要及び明細

財団法人京都大学教育研究振興財団は、その目的を達成するため、平成21年度において下記の事業を実施した。

**助成総額 93,630,000円**

A. 個人助成 (助成事業件数 65件 / 助成額合計 59,730,000円)

<b>国際交流促進助成 (第1号事業)</b>	<b>助成合計額 33,830,000円</b>
-------------------------	--------------------------

**国際研究集会派遣助成 (20件 / 3,800,000円)**

単位:円

所属	職・学年	氏名	年齢	国際研究集会名	開催国	開催場所	派遣期間	助成金額
医学研究科	特任助教	大庭 幸治	29	米国臨床腫瘍学会年次総会2009	アメリカ	オーランド・オレンジカ ウンティコンベンション センター	自 21/05/27 至 21/06/03	200,000
工学研究科	准教授	大島 義信	35	第8回日独橋梁シンポジウム	ドイツ	ミュンヘン工科大学・ミュンヘン 軍事大学	自 21/08/01 至 21/08/09	200,000
工学研究科	助教	橋本国太郎	28	第8回日独橋梁シンポジウム	ドイツ	ミュンヘン工科大学・ミュンヘン 軍事大学	自 21/08/01 至 21/08/07	200,000
医学研究科	研究員	保野 慎治	38	欧州心臓会2009	スペイン	バルセロナ・ Fira Gran Via	自 21/08/28 至 21/09/03	200,000
化学研究所	助教	時田 茂樹	30	第8回レーザー・エレクトロ-opticsに関する環 太平洋国際会議	中国	上海国際会 議センター	自 21/08/29 至 21/09/04	150,000
エネルギー科学 研究科	助教	陳 友晴	38	第7回国際応用地質学会アジア地域会議	中国	成都理工大 学	自 21/09/08 至 21/09/15	150,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	国 際 研 究 集 会 名	開 催 国	開 催 場 所	派遣期間	助成金額
理学研究科	GCOE 研究員	岸田 拓士	32	第18回海棲哺乳類学会大会	カナダ	カナダ水産 庁	自 21/10/10 至 21/10/19	200,000
農学研究科	助 教	桂 圭佑	30	第3回国際旱魃大会	中 国	上海・Vivasha ホテル	自 21/10/10 至 21/10/18	150,000
エネルギー科 学研究科	助 教	浜 孝之	32	第8回マグネシウム合金とその利用に関する国際会議	ドイツ	新ワイマール ホール	自 21/10/25 至 21/10/30	200,000
アジア・アフリカ地 域研究研究科	特 任 助 教	金子 守恵	34	第17回国際エチオピア学会	エチオピア	アジス・アベ バ大学	自 21/10/31 至 21/11/26	150,000
農学研究科	博士課程 3 年	酒井 祥太	27	アメリカ油化学会	アメリカ	オーランド・ロー ゼンシングルク リークホテル	自 21/05/01 至 21/05/08	200,000
人間・環境学 研究科	博士課程 1 年	坂野 逸紀	25	視覚科学学会第9回大会	アメリカ	ネイブルズグラン ドリゾート&クラブ	自 21/05/07 至 21/05/15	200,000
人間・環境学 研究科	博士課程 1 年	岩間 世界	26	第19回固体有機化学に関する国際会議	イタリア	ジェノヴァ・セス トリ・レバンテ	自 21/06/13 至 21/06/21	200,000
農学研究科	博士課程 3 年	ハセル ベアトリッ イボンヌ	33	第17回複合材料に関する国際学会	イギリス	エジンバラ国際 研究センター	自 21/07/25 至 21/08/04	200,000
文学研究科	博士課程 1 年	稲葉 肇	24	第23回科学技術史国際会議	ハンガリー	ブタペスト工 科経済大学	自 21/07/27 至 21/08/05	200,000
工学研究科	博士課程 2 年	岡本 隆明	25	第33回国際水理学会 持続可能な水環境水理学	カナダ	ブリティッシュ・ コロンビア大学	自 21/08/10 至 21/08/14	200,000
理学研究科	博士課程 3 年	畑 真紀	27	国際地球電磁気・超高層物理学協会第11回総会 及び講演会	ハンガリー	ソブロン・フラン ツ・リスト会議文化 センター	自 21/08/24 至 21/08/31	200,000
工学研究科	博士課程 1 年	宅野 嗣大	24	第13回欧州パワーエレクトロニクスカンファレンス及 び第3回SiCユーザフォーラム EPE2009	スペイン	バルセロナ会 議センター他	自 21/09/07 至 21/09/14	200,000
生命科学研究 科	博士課程 3 年	糸田 昌宏	28	ヨーロッパ分子生物学会研究会“核構造とダイナミ クス”	フランス	リール・シュ ル・ラ・ソルグ	自 21/09/29 至 21/10/07	200,000
工学研究科	博士課程 1 年	占部継一郎	25	第62回気体エレクトロニクス	アメリカ	サラトガヒルトン ホテル	自 21/10/19 至 21/10/25	200,000

長期派遣助成 (9件 / 19,975,000円)

単位:円

所属	職・学年	氏名	年齢	研究課題	派遣国	受入機関	派遣期間	助成金額
情報学研究科	助教	東 俊一	32	超解像制御論の構築:低解像度信号による高機能制御の実現	アメリカ	ペンシルベニア大学	自 21/04/01 至 22/03/31	2,550,000
エネルギー科学研究科	助教	山末 英嗣	35	新規リサイクラビリティ評価指標「都市鉱石TMR」に基づく資源管理戦略研究	オーストリア	ウィーン工科大学	自 21/04/24 至 22/01/04	1,750,000
理学研究科	助教	金 賢得	33	化学結合の生成/消滅過程や電子/プロトンの非局在化過程における超高速非平衡現象の数値実験的研究	アメリカ	スタンフォード大学	自 21/08/11 至 22/03/09	2,500,000
人間・環境学研究科	助教	松村圭一郎	33	エチオピアにおける食糧安全保障政策と農村社会の再編成	エチオピア	アジスアベバ大学	自 21/08/11 至 22/03/09	1,400,000
法学研究科	准教授	佐々木 健	30	古代ローマ世界の訴訟法制における特示命令の機能とその背景	イタリア	ローマ大学	自 21/09/01 至 23/09/30	2,550,000 (1年分助成)
工学研究科	助教	寺島 崇矢	30	星型ポリマー触媒と酵素触媒の融合による新規タンDEM精密重合系の創成	オランダ	アイントホーヘン工科大学	自 21/09/29 至 22/09/28	2,550,000
医学研究科	博士課程4年	岡本 俊宏	37	肺移植における水素と一酸化窒素(NO)の肺虚血再灌流障害に対する保護効果の解析	アメリカ	ピッツバーグ大学	自 21/04/01 至 22/03/31	2,475,000
教育学研究科	博士課程3年	山本 和行	31	近代日本植民地教育政策形成過程の研究 世紀転換期の植民地台湾における教育制度を中心に	台湾	中央研究院台湾史研究所	自 21/08/01 至 22/03/31	1,650,000
文学研究科	博士課程3年	菊澤 並子	26	英語史における仮定法	イギリス	グラスゴー大学	自 21/09/06 至 22/10/30	2,550,000

中期派遣助成 (8件 / 6,125,000円)

単位:円

所属	職・学年	氏名	年齢	研究課題	派遣国	受入機関	派遣期間	助成金額
農学研究科	助教	松尾 道憲	37	中枢神経系における脂質恒常性維持の分子基盤	カナダ	アルバータ大学	自 21/04/01 至 21/09/29	1,275,000
医学部附属病院	医員	梅田 裕生	37	神経耳科学、頭蓋底領域の先進的治療の実際とその技術習得及び頭蓋骨再生医療の臨床応用可能性に関する調査	イタリア	ピアチェンツァ・グルッポオトロジー	自 21/06/17 至 21/09/11	750,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
情報学研究科	助 教	中澤 巧爾	33	シーケント計算の計算論的意味	フランス	ポール・サバ ティエ大学	自 21/09/21 至 21/12/19	750,000
生存圏研究所	助 教	山本 真之	35	VHF帯大気レーダー・気象レーダー・ライダー観測 による雲物理量と風速変動との関連の解明	フランス	トゥーロン・ ヴァール大学	自 21/11/11 至 22/02/12	750,000
経済学研究科	博士課程 3 年	倪 卉	30	現代中国における蚕糸業及び蚕糸業産地の移動 に関する研究	中 国	広西大学、浙 江大学、中国 糸網協会他	自 21/06/07 至 21/08/31	700,000
文学研究科	博士課程 2 年	中川 未来	29	植民地期台湾における『台湾日報』主筆・内藤湖南 の活動に関する研究	台 湾	中央研究院台 湾史研究所	自 21/07/01 至 21/09/30	650,000
工学研究科	博士課程 1 年	三島 絵里	25	チタン及びテルル元素の特長を生かした新しいリビ ングラジカル重合の開発	デンマーク	オーフス大 学	自 21/08/05 至 21/10/31	750,000
アジア・アフリカ地 域研究研究科	博士課程 5 年	鈴木 遥	26	地域住民による熱帯林資源の持続的利用：インドネシア 東カリマンタン州におけるボルネオテツボクの事例から	インドネシア	カリマンタンR & D研究所	自 22/01/06 至 22/03/16	500,000

### 短期派遣助成 (5件 / 1,970,000円)

単位:円

所 属	職・学年	氏 名	年齢	研 究 課 題	派 遣 国	受入機関	派遣期間	助成金額
法学研究科	助 教	阿曾沼春菜	32	20世紀初頭のイギリス外交と東アジア国際秩序 マッケイ条約を巡るイギリスの政策決定過程	イギリス	ケンブリッジ 大学	自 21/08/25 至 21/09/16	310,000
人文科学研究 所	助 教	古松 崇志	36	遼金元時代北京地区の仏教史の研究	中 国	北京大学	自 21/09/01 至 21/09/30	400,000
化学研究所	助 教	徳田 陽明	35	無溶媒法によるプロトン伝導性有機無機ハイブリッ ド膜の合成	イタリア	サッサリー大 学	自 21/09/01 至 21/09/30	450,000
霊長類研究所	准教授	半谷 吾郎	34	果実生産と霊長類群集の構造：温帯と熱帯の比較	スイス	チューリヒ大 学	自 22/03/21 至 22/04/17	320,000
農学研究科	博士課程 3 年	伊ヶ崎健太	28	西アフリカ・サヘル地域での砂漠化対処に向けた実 践技術の開発とその普及	ニジェール	国際半乾燥熱 帯作物研究所 サヘルセン ター	自 21/05/11 至 21/06/09	490,000

短期招へい助成 (5件 / 1,960,000円)

単位:円

所 属	職	氏 名	年齢	研 究 課 題	国・機関・職名	招へい期間	助成金額
人間・環境学 研究科	教 授	齋木 潤	(受入教員)				
		シャムスル H マームド Shamsul H. Mahmud	61	主観的幸福感の文化比較研究	バングラデシュ・ダッカ大 学・教授	自 21/06/01 至 21/07/07	450,000
人間・環境学 研究科	教 授	阿辻 哲次	(受入教員)				
		ヴォロビョワ ガリーナ Vorobeva Galina	60	ロシア語圏と英語圏の日本語学習者向けの中級の 教科書『漢字物語千一話』の作成を目指す漢字の 構造分析と基本的な構成要素の意味の調査	キルギス・キルギス日本 語教師会・会員	自 21/07/03 至 21/07/29	420,000
経済研究所	教 授	一方井誠治	(受入教員)				
		エリック ポンティウ Eric Ponthieu	45	日・EUの比較による気候変動及び持続可能な発 展政策に関する研究	ベルギー・欧州経済社会 委員会・ユニット長	自 21/07/19 至 21/08/01	290,000
工学研究科	教 授	北村 隆行	(受入教員)				
		ゼン 全 インス 仁秀	54	ナノ要素膜の強度特性解析	韓 国・全南国立大学・ 准教授	自 21/07/20 至 21/08/19	350,000
地球環境学堂	教 授	植田 和弘	(受入教員)				
		フランク コンベリー Frank Convery	66	EUと日本における気候変動政策 欧州排出権取 引制度を中心に	アイルランド・ダブリン大 学・教授	自 21/11/09 至 21/12/08	450,000

教育研究活動推進助成 (第 2 号 事業) 助成額 18,000,000円

シンポジウム等開催助成 (12件 / 18,000,000円)

単位:円

代表者の所属・職・氏名	シンポジウム名・開催場所	開催期間	助成金額
医学研究科 教授 戸井 雅和	京都乳癌コンセンサス会議2009国際大会 国立京都国際会館	自 21/04/16 至 21/04/18	1,500,000
農学研究科 准教授 河原 太八	第6回国際コムギ連シンポジウム 京都大学百周年時計台記念館	自 21/05/31 至 21/06/05	1,500,000
原子炉実験所 教授 藤井 紀子	第1回D - アミノ酸研究会国際会議 兵庫県淡路夢舞台国際会議場	自 21/07/01 至 21/07/04	1,500,000
医学研究科 教授 金子 武嗣	神経細胞の情報処理メカニズムの最先端 京都大学百周年時計台記念館	自 21/07/23 至 21/07/24	1,500,000
文学研究科 准教授 米家 泰作	第14回国際歴史地理学会議 京都大学	自 21/08/23 至 21/08/30	1,500,000
文学研究科 教授 赤松 明彦	第14回国際サンスクリット会議 京都大学百周年時計台記念館	自 21/09/01 至 21/09/05	1,500,000
理学研究科 准教授 藤井 道彦	第21回ロルフ・ネヴァンリンナ・コロキウム 京都大学百周年時計台記念館	自 21/09/07 至 21/09/11	1,500,000
ウイルス研究所 教授 松岡 雅雄	第16回東アジア医科学国際シンポジウム 京都大学医学部芝蘭会館	自 21/09/12 至 21/09/15	1,500,000

代表者の所属・職・氏名	シンポジウム名・開催場所	開催期間	助成金額
情報学研究科 教授 松山 隆司	第12回コンピュータビジョン国際会議 国立京都国際会館、京都大学百周年時計台記念館	自 21/09/27 至 21/10/04	1,500,000
工学研究科 教授 小林 哲生	第18回国際脳電磁図トポグラフィ会議 京都市国際交流会館	自 21/09/29 至 21/10/02	1,500,000
工学研究科 教授 木村 健二	第5回高分析能深さプロファイリングに関する国際研究集会 京都ガーデンパレス	自 21/11/15 至 21/11/19	1,500,000
生態学研究センター 助教 藤田 昇	地球環境変動・国際社会変動の中での、モンゴルの生態系ネットワークの崩壊と再生 総合地球環境学研究所	自 22/01/23 至 22/01/24	1,500,000

**学術研究書刊行助成 (第4号事業) 助成額 7,900,000円**

学術研究書刊行助成 (6件 / 7,900,000円)

単位:円

所属	職・学年	氏名	年齢	学術研究書題名	出版者	刊行月	助成金額
農学研究科	教授	藤崎 憲治	61	昆虫科学が拓く未来	一般社団法人京都大学学術出版会	21年 4月	1,500,000
文学研究科	准教授	家人 葉子	44	Verbs of Implicit Negation and their Complements in the History of English	John Benjamins 株式会社雄松堂出版	21年11月	1,200,000
東南アジア研究所	教授	杉原 薫	60	地球圏・生命圏・人間圏 持続型な生存基盤を求めて	一般社団法人京都大学学術出版会	22年 3月	1,500,000
野生動物研究センター	准教授	中村美知夫	37	インタラクションの境界と接続	株式会社昭和堂	22年 3月	1,500,000

所 属	職・学年	氏 名	年齢	学 術 研 究 書 題 名	出 版 者	刊 行 月	助成金額
アジア・アフリカ 地域研究研究 科	助 教	丸山 淳子	32	変化を生きぬくブッシュマン	世界思想社	22年 3月	1,300,000
法学研究科	教 授	林 信夫	60	法律ラテン語格言	有限会社慈学社出版	22年 3月	900,000

・ 大学の全体計画事業助成 (助成事業件数10件 / 助成額合計 33,900,000円)

国際交流促進助成 (第1号事業) (3件 / 助成額 11,500,000円)
---

国際大学連合事業(APRU・AEARU)への参画: 5,500,000円

組織的国際活動として、APRU(環太平洋大学協会)やAEARU(東アジア研究型大学協会)に加盟し、その中核大学として、教育・研究の分野から、地域社会の発展や問題解決に貢献するとともに、研究者の相互交流を積極的に行い国際的学術コミュニケーションの形成や次世代研究者の育成を図る。

APRU(環太平洋大学協会)関連事業参加経費

第10回APRU 博士課程学生会議 / 平成21年7月6日～10日・京都大学

第4回APRU 学部学生サマープログラム / 平成21年7月13日～24日・シンガポール国立大学

APRU・AEARU リサーチシンポジウム「環太平洋地震災害に備える」 / 平成21年8月17日～18日・国立台湾大学

AEARU(東アジア研究型大学協会)関連事業参加経費

AEARU 学生サマーキャンプ / 平成21年8月16日～23日・大阪大学

第5回AEARU 文化ワークショップ / 平成21年11月5日～8日・北京大学

第3回AEARU 先端材料科学ワークショップ / 平成21年11月11日～13日・浦項工科大学

第10回AEARU 分子生物学・生物工学ワークショップ / 平成21年11月11日～13日・国立台湾大学

## 京都大学国際シンポジウムの開催： 5,200,000円

京都大学の誇る学術研究を世界に発信し、研究情報交換および研究者交流を行い、研究面における国際貢献・国際交流の進展を図る。

### 第13回京都大学国際シンポジウム：『学術研究における映像実践の最前線』の開催経費

学術研究における映像に関わる実践に注目した分野横断的な学際シンポジウムで、映像メディアの発達による各専門領域の先端研究の開拓と新たな課題を明示するとともに、映像実践を通じた先端的・独創的研究の可能性や専門領域を超えた人類・社会を導く新たな学術基盤を構想する。

開催期間：平成21年12月11日～13日

開催場所：京都大学百周年時計台記念館

参加人員：国内外研究者 延べ約420名

## 大学間学術交流協定締結校との交流事業： 800,000円

京都大学が学術交流協定を結んでいる海外85大学のうち、交流協定に基づく研究者交流の実績を積み、双方の受入体制が整っているフランスのストラスブール大学との間で、研究者の相互交流を積極的に行い国際交流を推進するとともに、交流校を基点にしてネットワークを広げ、学術研究上の国際的リーダーシップを獲得していく。

### ストラスブール大学からの研究者招へい経費

Alain Krol (研究題目：RNAスイッチによる真核細胞の遺伝子発現制御)

Nicolas Wicker (研究題目：統計的機械学習手法に基づく代謝パスウェイからの知識発見)

**教育研究活動推進助成 (第2号事業) (助成事業件数3件 / 助成額 7,700,000円)**

## 京都大学未来フォーラムの開催： 1,700,000円

京都大学の学生に対し、国際的視野、社会・経済の変化に対応しうる幅広い視野で活躍する人々を招いて講演と意見交換の場を提供し、講演者を通じて得られる社会からの情報還元により、学生自身が総合的な判断力を養い、社会の中で幅広く物事に対処できる自己の確立、学習・研究意欲の向上を図ることにより、自己研鑽及び意識改革へとつなげる。

### 第38回～第42回京都大学未来フォーラム開催経費

開催場所: 京都大学百周年時計台記念館

第38回	6月26日	「21世紀の科学 - ダーウィンの進化論と複雑系の法則」	慶應義塾大学名誉教授	米澤富美子
第39回	7月22日	「小説の現状と今後」	作家	平野啓一郎
第40回	10月14日	「技術と経営」	株式会社森精機製作所社長	森 雅彦
第41回	12月16日	「危機に立つ人類・地球・文明 未曾有の危機の時代におけるパラダイム・シフト」	元最高裁判所長官	山口 繁
第42回	1月22日	「21世紀の美術館 3mから3cへの移行の時代にあって」	東京現代美術館 チーフキュレーター	長谷川祐子

### 学生交流協定校への短期学生派遣: 5,000,000円

京都大学が留学生受入れのプログラムである「国際教育プログラム」に対応する「大学間交流協定に基づく派遣留学制度」として実施するもので、京都大学の学部または大学院に在籍しつつ、1学期以上1年以内の期間、協定校で教育を受けて単位取得、研究指導を受ける。

学生交流協定校への学生派遣経費(往復航空運賃の補助)

派遣大学

(アメリカ/ジョージ・ワシントン大学、ハワイ大学、ペンシルバニア大学 カナダ/ウォータールー大学、マギル大学、トロント大学、コンコルディア大学 イギリス/マンチェスター大学、シェフィールド大学 フランス/ストラスブール大学、スタンダール大学  
スイス/ローザンヌ大学 オーストリア/ウィーン大学 ドイツ/ミュンヘン大学 オランダ/ユトレヒト大学、ライデン大学  
スウェーデン/ストックホルム大学 ニュージーランド/オークランド大学 台湾/国立台湾大学 中国/清華大学  
シンガポール/シンガポール国立大学)

### 中国重点大学におけるアドバイザー制度の推進: 1,000,000円

京都大学が海外から優れた研究者・学生を招致するため、最重要地域である中国の重点大学(北京大学・清華大学・復旦大学・上海交通大学・南京大学・浙江大学)に、「京都大学留学・広報アドバイザー」を任命配置し、研究者・留学生交流を効率的かつ効果的に推進する。毎年度1回「京都大学留学・広報アドバイザー」を京都大学に招へいして、最新の情報交換を行い、今後の活動方針・内容等について具体策を協議する。

平成21年11月13日～18日 「京都大学留学・広報アドバイザー」検討会議開催。中国重点大学からの招へい経費

**教育研究施設拡充整備助成 (第 3 号 事業) ( 助成事業件数1件 / 助成額 3,700,000円 )**

**京都大学百周年時計台記念館の補修:** 3,700,000円

当財団の助成により建設の『京都大学百周年時計台百周年記念館』の補修  
時計塔雨水浸透部改修工事及び外壁石帯部等洗浄工事に要した経費

**社会連携推進助成 (第 5 号 事業) ( 助成事業件数3件 / 助成額11,000,000円 )**

**京都大学春秋講義の開催:** 1,600,000円

京都大学での学術研究活動を広く一般市民に公開して、社会との連携を深める。京都大学の各部局において開催される公開講座は、それぞれの専門領域を反映した講座となっているが、京都大学春秋講義では、京都大学の持つ総合性の魅力を発信していく機会として期待されている。

京都大学春秋講義(2009年春季講座・秋季講座)の開催経費

開催場所: 京都大学百周年時計台記念館・京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂・キャンパスプラザ京都

**[2009年春季講座]**

月 曜 講 義 / 京都大学百周年時計台記念館   メインテーマ: 死刑を考える

4月13日 「東アジアの死刑 - その歴史と思想 - 」

4月20日 「刑罰の目的と死刑の意識 - なぜ人が人を裁けるのか - 」

4月27日 「刑事手続の中の死刑 - とくに裁判員制度との関係で - 」

人文科学研究所教授   富 谷   至

法学研究科教授   高山佳奈子

法学研究科教授   堀 江 慎 司

水 曜 講 義 / 京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂

5月20日 「ips細胞の臨床への応用」

5月27日 「消えた反物質 - 小林・益川理論と反粒子実験 - 」

6月 3日 「光速をめぐる - 歴史的意義と先端技術への応用 - 」

ips細胞研究センター  
副センター長

理学研究科准教授   中 畑 龍 俊

工学研究科教授   中 家   剛

工学研究科教授   北 野 正 雄

**[2009年秋季講座]**

月 曜 講 義 / 京都大学百周年時計台記念館   メインテーマ: ガリレオ・ガリレイと現在 - 世界天文年にち

10月 5日 「ガリレオの見た黒点と太陽はどこまで解明されたか？」	理学研究科附属天文台長	柴田一成
10月19日 「ガリレオの天文観測 - 望遠鏡による新しい宇宙の発見」	文学研究科教授	伊藤和行
10月26日 「天体望遠鏡400年の歴史」	理学研究科教授	長田哲也
水曜講義 / 京都大学宇治キャンパスおうばくプラザ		
10月28日 「将来を考えるエネルギー:太陽、そして水素」	エネルギー理工学研究所長	尾形幸生
11月18日 「『分数ができない大学生』から10年 - 何があったか、何が変わったか」	経済研究所長	西村和雄
11月25日 「日本の宇宙基本計画と宇宙開発利用」	総長	松本 紘

## 京都大学東京フォーラム及び地域講演会の開催： 5,400,000円

京都大学が伝統的に蓄積してきた高度な学術や知的財産に加え、現在進行している教育・研究活動や新しい研究成果等を全国で紹介することを通じて、広く社会に還元する。

### 京都大学東京フォーラムの開催経費

平成21年12月9日 東京會館 / 参加人員120名

テーマ : 宇宙船地球号の未来を考える 京都からの発信

講演 「都市の未来」(地球環境学堂教授 勝見 武)

「マニュアルなき操縦」(人間・環境学研究科準教授 安部 浩)

「ごみは意外に雄弁だ」(環境保全センター助教 浅利美鈴)

### 京都大学岐阜講演会、福岡講演会の開催経費

平成21年9月16日 じゅうろくプラザ(岐阜市) / 参加人員137名

テーマ : 幹細胞と化学の融合が生み出す新しい世界

講演 「物質 - 細胞統合システム拠点の概要および多能性幹細胞(ES/iPS細胞)の限らない可能性」

(物質 - 細胞統合システム拠点長 中辻憲夫)

講演 「化学で細胞を操る」(物質 - 細胞統合システム拠点教授 上杉志成)

講演 「微笑空間を持つ材料が生み出す新しい世界」(物質 - 細胞統合システム拠点副拠点長 北川 進)

平成21年9月29日 ホテルニューオータニ博多(福岡市) / 参加人員192名

テーマ : ガリレオが初めて望遠鏡を夜空に向けて400年 2009年世界天文年にちなんで...

講演 「最新の太陽像と宇宙天気予報」(宇宙総合学研究ユニット特定助教 磯部洋明)

講演 「千年の時を駆ける超新星の科学」(名誉教授 小山勝二)

## 京都大学附置研究所・センターシンポジウムの開催： 4,000,000円

京都大学の附置研究所・センターの活動や研究の成果を広く社会に発信する。学界・産業界の専門分野の研究者 技術者の情報交換・普及を図るとともに、関連企業や一般市民を対象に、研究所やセンターの教育・研究活動への理解を深める。

### 平成21年度京都大学附置研究所・センターシンポジウムの開催経費

平成22年3月13日 アクロス福岡（福岡市）

テーマ：京都からの提言 - 21世紀の日本を考える(第5回)『グローバル社会に生きる 未来を見据える目』

講演：「地球社会の変動と複合する災害」(防災研究所教授 竇 馨)

「日本の伝統文化から地球環境問題の未来を考える」(こころの未来研究センター教授 カール・ベッカー)

「地球の体温、私の体温」(化学研究所教授 梅田真郷)

「都市と地域経済：空間経済学の視点から」(経済研究所教授 森 知也)

「海の生物を調べつくす挑戦」(フィールド科学教育研究センター長 白川義久)

パネルディスカッション：「地方から日本(世界)を変える」(コーディネーター 化学研究所長 時任宣博)